

【鳥取大学入学センターNews 高校教員版 2020年3月号 2020年3月23日配信】

鳥取大学入学センターです。
本学入学センターへご連絡をいただいたり、名刺交換いただいた先生方に配信しています。

[緊急のお知らせ] 欠員補充第2次募集

医学部医学科（島根県枠）において、「欠員補充第2次募集」を実施します。
詳細は3月27日（金）に入学試験情報HPに掲載予定です。
<<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/info/10062>>

[2点のお知らせ]

①『地方の国公立大の魅力 概要編』冊子改訂について

- ・2017年に制作した『地方の国立大の魅力 概要編』冊子を改訂しました。タイトルを『地方の国公立大の魅力』と変え、内容も一部変更しています。
- ・以下よりPDFデータをご覧いただけます。
<<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/poster>>
- ・これまで同様、「冊子無料・送料ご負担」でご要望の部数を、提供します。ご希望の先生は、以下【 】内を明記の上、メールでご連絡ください。
【学校名・お名前・役職名・住所・電話番号・必要部数・利用予定日・利用場面】宛先<info-ac@ml.adm.tottori-u.ac.jp>

②「高校教員説明会2020」開催について

- ・鳥取大学と公立鳥取環境大学は、鳥取県外の37都市で共同開催の進学説明会を開催します。
日程・都市・会場が確定し、申込受付を開始します。
以下より詳細をご確認いただけます。
<<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/soudan-teacher>>
<https://telemail.jp/shingaku/tottri_webform2020/>
- ・開催通知文書は、4月下旬に高校へ送付します。
(高校教員対象説明会開催地区の高校への通知となりますのでご了承ください。)
- ・鳥取県内の高校の先生方を対象とした本学開催は、
6/12（金）鳥取キャンパス、6/19（金）米子キャンパスです。
詳細は4月下旬に文書を送付します。

[高校生の声 ～『地方の国立大の魅力』講演の感想から～]

『地方の国立大の魅力』冊子を制作しご案内する中で、『地方の国立大の魅力』講演の依頼をいただいております。

講演後に感想を書ってくれた生徒の声を、以下にご紹介します。

「昨日、中間テストの個表が返却されました。帰宅後すぐに親に渡し、結果と今後について話し合いました。期末テスト

もあつという間にやってくるため、どの科目をどうしたいか、そのためにどうするかをよく考えましたが、やはり

苦手なものには目をそむけたくなくなりました。国・社・英で得点が取れていても、数・理でまわりの友達との差が

大きくなっているのが現状です。だから、苦手な方面の改善よりも得意な方面を更に伸ばそうか、というようなことも

考えつつありました。しかし、今回の講演会で先生は、“捨てていい教科はない、高校で学習する科目はすべて重要！”

と話をされていました。数学や理科から逃げるということは“楽をする”ことであって、“未来で必ず苦勞する”こと

になるのだと思い知らされました。今学んでいることの1つ1つが大学入試に影響し、そして大学生活にも直接影響を

与えることになることも改めて認識することが出来ました。」

(『地方の国立大』の話だけではなく、生徒の進路意識状況にあわせて講演しますので要望詳細をお知らせください)

[今月の在学生] 医学部保健学科看護学専攻4年Iさん（大阪府立鳳高等学校出身）

3月で無事に卒業することができました。国家試験にも合格できましたので、4月から病院に勤めます。
鳥取大学は全国各地から学生が集まっていて、鳥取県の出身者だけではなく、私と同じ関西出身者が多かったり、
沖縄県や東京都出身の学生もいたり、今まで出会えなかった沢山の人と会うことができました。
そのおかげで、いろんな考えや価値観を学ぶことができました。
地元を離れて大学進学したからこそ、わかることがある。
大きく成長できた4年間だったと感じています。

[今月の研究者] 医学部長 黒沢洋一 教授
鳥取大学医学部は、1945年の米子医学専門学校開学より、今年で75周年を迎えます。

<<https://www.med.tottori-u.ac.jp/27432.html>>

この間、山陰の医学教育・研究・診療、そして人材育成の中核としての社会的使命を果たしてきました。

これまでに約6,500名の医師、約1,300名の看護師、約600名の臨床検査技師、約1,000名の生命科学学士を輩出しております。

教育面では、鳥取大学の特色である「ヒューマン・コミュニケーション」、「基礎手話」の授業等、人間性涵養教育による、全人的医療人養成を行っております。

診療、研究面では、低侵襲ロボット手術や人工染色体・幹細胞操作技術の医療応用技術(染色体工学研究センター)等をはじめとする世界的な診療、研究の実績があります。

先日2月11日には附属病院低侵襲外科センターにおいて、本学医学部医学科学生を対象とした「低侵襲外科センター体験セミナー」を開催しました。

<<https://www.med.tottori-u.ac.jp/news/27498.html>>

先端的で特色ある医療、研究を土台にして、さらに再生医療、ゲノム医療等の最新の医療技術の開発をすすめています。

また、それらを担う人材、臨床研究者及び生命科学・基礎医学研究者の養成を積極的に推進し、臨床や産業界との橋渡しができる人材の育成に力を入れています。

<<https://www.med.tottori-u.ac.jp/>>

[国の高等教育政策の動向ならびに高大接続改革のゆくえ]

◎文部科学省が3/19に「大学入学者選抜における多面的な評価の在り方に関する協力者会議(第1回)」を開催し、配布資料を公開しています。

<https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/106/kaisai/1421438_00007.htm>

<https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/106/siryu/1417595_00006.htm>

※メール配信停止をご希望の場合<ncn-ft@ml.adm.tottori-u.ac.jp>へ「配信停止希望」と明記し返信下さい。

※このメールアドレス<ncn-ft@ml.adm.tottori-u.ac.jp>はメルマガ配信専用です。ご質問お問合せは<info-ac@ml.adm.tottori-u.ac.jp>へお願いします。